



まちを支える。ひとに寄りそう。

SAGAWA

タウンサポート

2024年度版
取組事例集

地域社会の明るい未来を守るために

当社は、物流事業者として培ってきたノウハウを生かしながら、官民一体となって地域社会の課題を解決するため、さまざまな支援・サービスを展開しています。

平時においていざという時に備える防災支援の取り組みや、地域活性化につながる観光イベントの運営補助、DXによる行政業務の効率化から、次世代の物流を構想する先進的な実証実験への参画まで、グループ各社とも連携しながら、サポート領域を拡大しています。

第四弾となる今回の事例集では、個別のサポート事例のご紹介に加えて、多くのご相談をいただいている「防災支援」「観光イベント」「DX」などの領域について、インタビュー記事や最新サービスのご案内なども交え、豊富な内容で特集しています。ぜひ、ご活用ください。



代表取締役社長
本村 正秀



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社のタウンサポートは、官民連携を通して地域が抱える課題を解決するとともに、地域社会のSDGs達成にも貢献します。



SDGs (エス・ディー・ジーズ)とは？

SDGsとは、「未来まで安心して豊かな生活を送ることが出来る世界」を目指して、国連サミットで決まった2030年までの世界的な目標です。環境や貧困など、幅広い17のゴールと169のターゲットで構成されています。

地方自治体と連携して地域課題を解決



グループ各社の強みを生かし、地域課題の解決

当社はSGホールディングスグループの中核企業として、川上から川下まで、お客さまのあらゆる物流ニーズにお応えする総合物流企業です。当社と各事業会社が強みを生かし、地域社会の課題を解決するサービスを展開しています。



に向けたサービスを展開

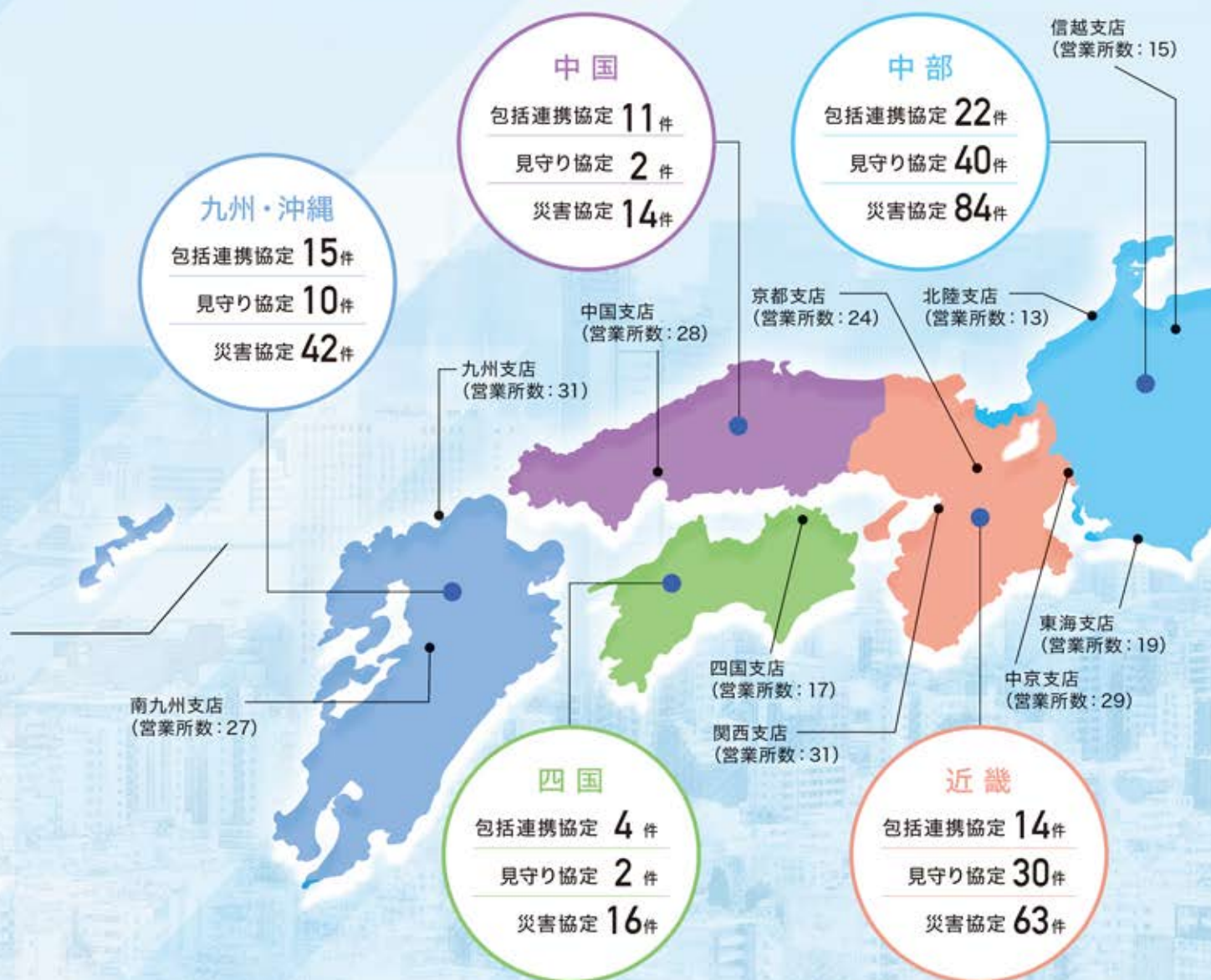


※1 TMS…Transportation Management Systemの略。従来のチャーターサービスを強化しお荷物に合わせた最適な輸送手段を提案するサービス。

※2 GIGA スクール・アフター GIGA 対応

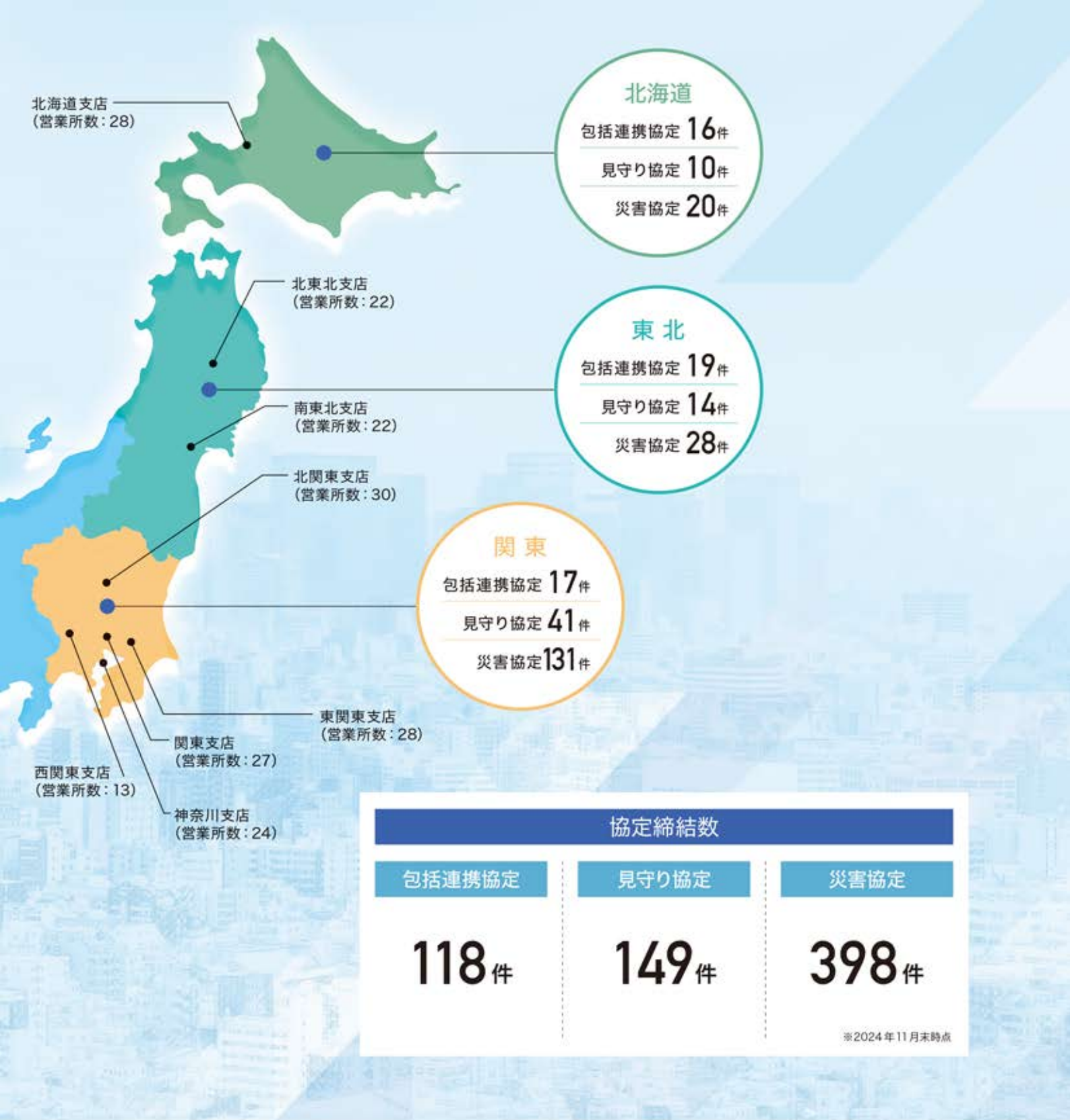
自治体などとの連携で、課題解決に取り組む

当社は、地方自治体、団体、企業などと協定を締結し、官民一体で地域社会の課題解決に向けて、取り組んでいます。



CONTENTS

グループ各社紹介	02	■ 観光・イベント運営支援	13	■ 農水産業支援	30
自治体などとの連携で、課題解決に取り組む	04	■ 自治体業務支援	17	■ 地域交通活性化	32
当社の災害支援活動	06	■ 教育支援	22	当社の環境活動	33
Special Interview 1	08	■ 移設	23		
■ 災害支援	10	■ 国際案件	26		
Special Interview 2	12	■ ふるさと納税支援	28		



タウンサポート カテゴリー

 ふるさと納税支援	 農水産業支援	 地域交通活性化	 国際案件	 買い物支援	 観光・イベント運営支援	 環境
 教育支援	 移設	 医療支援	 自治体業務支援	 災害支援	当社は官民一体となって、地域社会の課題に適切なソリューションをご提供します。	

当社の災害支援活動

当社は、大切な社会インフラである物流を支える事業者として、地域の皆さまの「安心」「安全」に貢献するべく、有事における災害支援活動に取り組んでいます。

1995年1月	2011年3月	2016年4月	2017年7月	2018年7月
阪神・淡路大震災	東日本大震災	熊本地震	九州北部豪雨	西日本豪雨
当時戦後最大の大惨事とされたこの時の経験が、当社の災害支援活動のはじまりとなりました。	支援要請元 日本政府の緊急災害対策本部	支援要請元 熊本県・熊本市	支援要請元 朝倉市（福岡県）	支援要請元 三原市（広島県）
				
駅を臨時の集積場として活用	自衛隊の先導を受け、被災地に向かう当社の救援部隊	全国から集まった支援物資の仕分け、避難所への輸送を行いました	グループ各社が連携して支援物資輸送を実施しました	物資の入荷から保管、配送までサポートしました

1 支援物資輸送事例紹介

東日本大震災

2011年3月～



東日本大震災では、発災後2週間以内に全国の輸配送網を再開させました（一部地域を除く）。

2 支援物資輸送事例紹介

九州北部豪雨

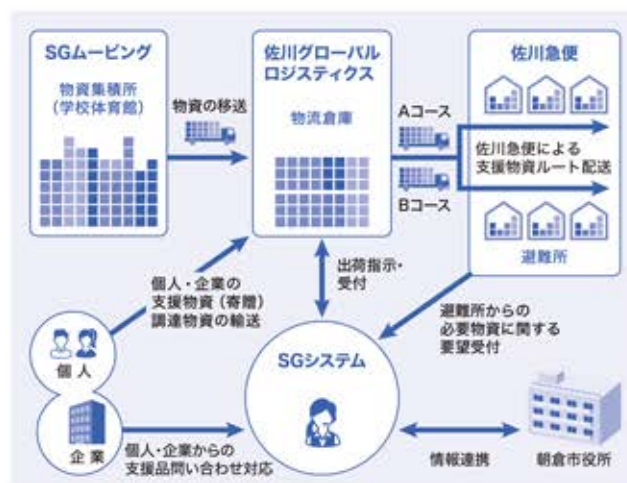
2017年7月～



グループ各社と連携し、支援物資の輸送を計6カ所の避難所へ1日2回支援物資をお届けしました。

スピード感を持った事業再開

- 3/11 金** 京都本社および当時の本社東京本部に、災害対策本部を設置。
- 3/13 日** 当時の関東支社から、トラック100台、200人の救援部隊を派遣。
- 3/17 木** 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県で、「営業店止めサービス（当時）」を再開。
- 3/18 金** 福島県で「営業店止めサービス」を再開。
- 3/22 火** 青森県、秋田県、山形県で集配を再開。いわき店、相馬店で「営業店止めサービス」を再開。
- 3/24 木** 被災地の一部エリアで集荷・配達を再開。全国の輸配送網を復旧させる（一部地域を除く）。



当社の支援活動についてまとめた動画を
次の二次元コードからご覧いただけます。



2019年9～10月

2021年7月

2024年1月

房総半島台風(台風15号)
東日本台風(台風19号)

伊豆山土石流災害

能登半島地震

支援要請元

千葉県・宮城県丸森町

避難所に大量の
支援物資を届け
ました(千葉県)



丸森町では
避難所に食料
などを配送
(宮城県)

支援要請元

熱海市(静岡県)

熱海市における支援
活動の動画はこちら



専門性を持つグループ各社が
合同で対応

支援要請元

石川県、金沢市、七尾市、能登町、
中能登町、羽咋市、穴水町、珠洲市

支援活動の動画
はこちらから



1日に最大で車両36台と人員66人を派遣



自衛隊やボランティアの方々と協力し、支援物資の輸送、保管・管理を
行いました

3 支援物資輸送事例紹介

能登半島地震

2024年1月～



2024年1月1日（月）、最大震度7の巨大地震に襲われた能登半島。当社は支援要請を受け、現地での災害支援活動を行いました。当社に支援活動の要請をいただいた自治体の首長にお話を伺いました。

七尾市

支援業務に真摯に 取り組む姿に感銘

石川県七尾市 市長
茶谷 義隆様

ちやたに・よしとか／2020年より
現職。2023年に当社と災害協定
を結んでいる。

協定を締結していたからこそ

能登半島地震によって、七尾市全域は一瞬にして大きな被害を受けました。各メディアで大きく取り上げていたことから、全国から支援物資が集まりました。これは大変ありがたいことでしたが、職員の手は足りず、かつ市内の道路の状態が劣悪であったため、避難所へ早急に物資を届けることは到底できない状況でした。

そこで、佐川急便さんとの「災害

協定」に基づき、支援を依頼しました。とても迅速に動いてくださり、1月4日には業務を開始していただきました。協定を締結していたからこそだと実感しました。

支援業務への尽力に心から敬意

佐川急便さんの支援業務は、まさにプロフェッショナルでした。まず、トラックによって一度に多くの物資を配送していただくことで、職員の業務負担が軽減されるとともに、避難所などへの配送時間も短縮されました。また、物資の在庫管理、フォークリフトでのスピーディーな荷さばきなど、従業員の皆さんの想像以上の活躍ぶりに感銘を受けました。

今回、関東や東海方面から応援に入っていただいたと聞きました。



土地勘のない地域で、かつ冬場で寒さが厳しい北陸において、七尾市のために支援業務に携わっていただいた皆さまのご尽力に、心から敬意を表します。

地域社会の課題解決に向けて

今後においても、地域社会の課題解決に取り組んでいる佐川急便さんには、災害支援以外にも新しい支援・協力をお願いできるのではないかと考えています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



想像を絶する災害の中、 希望となった物流の力

能登半島という地形の宿命として

佐川急便さんとは、2022年3月に災害協定を締結させていただいています。過去に発生した熊本地震や西日本豪雨を教訓として、災害時には物流が課題になるということは常々感じており、また能登町は半島に位置するため、道路が命綱になると考えたからです。

しかし、1月に発生した能登半島地震は、私たちの想定をはるかに超えるものでした。被害は能登町

全域に及び、電気や水道といったライフラインは絶たれました。町の職員たちは、各避難所へ公用車で支援物資を運び、次々に届く物資の受け入れにも対応。誰もが疲弊していました。そのような中、協定に基づき、佐川急便さんにご相談。1月10日からは支援物資に関わる業務をお任せすることができたんです。協定を結んでおいて本当に良かったと思います。

“我が町”を知り尽くした頼もしさ

ドライバーさんたちは、道路状況も分からない中、避難所の住所だけで確実に物資を届けてくださり、さすが配達のプロだと感心しました。また、体育館などの物資拠点では、物資の配置換えやカゴ台車を活用した効率的な管理方法



もご提案いただき、私たちの作業負担も軽減。未曾有の災害の中、物流の力が本当に頼もしく感じられました。

今後もプロの知見を借りながら

まだまだ復興の道半ばではありますが、今回の震災を検証し、町の備蓄計画も見直すことが必須です。その際には、ぜひとも物流のプロである佐川急便さんの知見をお借りしたい。今後もさらに密な連携を図れればと考えています。



石川県能登町 町長
大森 凡世様

おおもりの・かずよ／2021年より現職。2022年に当社と災害協定を結んでいる。

SAGAWA 防災支援サービス

近年、地震や台風、集中豪雨などの甚大な被害を及ぼす自然災害が多発しています。万一の際に命を守るためには、迅速かつ効率的な物資の輸送が不可欠であり、自治体も企業も災害への備えが急務となっています。

これまで数々の災害支援に携わってきた佐川急便が、その知見を生かした防災対策プランをご提案します。

※詳しくは下記をご覧ください ▼

有事に適切な対応を行うためには「事前」の対策が必要 サービスのポイントを2つ紹介します



POINT 1 備蓄品の管理・保管・運用までトータルサポート

備蓄品の棚卸



手間のかかる棚卸業務をサポート

備蓄品の整理整頓



荷崩れしにくい積み方や、導線・スペースの確保、簡易清掃など

配置レイアウトの作成



拠点となる保管倉庫内のレイアウト図を作成し、備蓄品の配置状況を可視化

備蓄品の期限管理



備蓄品の賞味期限、使用期限をカウントし、適切な在庫管理をサポート

備蓄品の調達



災害備蓄品の調達から保管、全国配送、さらには再流通支援も可能

ここまで対応可能！



データ納品

品目ごとの数量・期限データ、倉庫内のレイアウトマップをはじめとした備蓄品管理状況は、データにて納品させていただきます。

POINT 2 防災対策のコンサルティングとしてサポート

物資拠点の現状分析に基づく改善案提示

- 物資拠点の分析
- 搬入・搬出路や保管場所の確認
- 運営場所・資機材の確認、課題抽出
- 物資拠点・倉庫のご提案



資機材のご提案（拠点運用の効率化）

- 物資の搬入・搬出に役立つ資機材
- 物資の整理整頓に役立つ資機材



伸縮ローラーコンベア

物資輸送訓練の企画・運営・評価

- 物資輸送訓練の実施
- 有事の際の実効性向上
- 現状の課題を可視化



伸縮ローラーコンベアを使用した物資輸送訓練

物資供給に関わるマニュアルの作成

- 物資供給体制の在り方
- 支援物資の基本的な流れ
- 拠点運営上の基本的ルール



災害支援

成約

災害備蓄用給水袋を備蓄したい

大阪市内の施設（区役所・市立学校など）で、名入りの給水袋55,744袋を備蓄したいとのご要望に、安価に手配可能でお客さまの仕様に合わせて製作できる

受注生産品をご提案。136カ所ある施設へTMSと宅配便を使い分けて納品しました。調達から配送まで、他社よりもコストを抑えることを実現しました。

解決フロー

事業会社：佐川急便、佐川グローバルロジスティクス、佐川アドバンス



災害支援

成約

災害備蓄品の管理をスムーズに行いたい

「各避難所にある災害備蓄品の管理が煩雑化している」、また「細かな物資は、避難所の規模に応じて、アソートを行いたい」という自治体からのご相談を受け、

自治体が保管している備蓄品や新たに調達された物資を一度回収し、佐川グローバルロジスティクスにてアソートを行い基幹倉庫や各避難所にお戻ししました。

解決フロー

事業会社：佐川急便、SGムービング、佐川グローバルロジスティクス



災害支援

成約

備蓄品の棚卸しとリロケーションを行いたい

自治体（県）より「各地で頻発する災害について、発災時にはより迅速な支援物資供給が責務と考えており、数年ごとに物資担当者が変わるたび詳細な引き継ぎを

しなければならないことが負担となっている」と相談を受けました。優先度の高い備蓄品の配置方法と、担当者以外でも把握できるリロケーションを行いました。

解決フロー

事業会社：佐川急便、佐川グローバルロジスティクス



守山市

当社と地域活性化包括連携協定を締結する滋賀県守山市。琵琶湖を舞台としたトライアスロン大会では、物流分野で大会をサポートさせていただいています。当社の対応や今後の期待について、森中市長に伺いました。

物流のプロならではの ご提案をいただいています

滋賀県守山市 市長
森中 高史様

もりなか・たかふみ／2023年より
現職。2023年に当社と包括連携協定
を結んでいる。

CO₂排出量という大きな課題

琵琶湖を舞台に行われる「LAKE BIWA TRIATHLON」では、佐川急便さんに尽力いただき大変感謝しています。国内外から人が集まるこうした大規模イベントには解決すべき課題がたくさんあります。その中でも大きな課題がCO₂排出量の問題です。「どうすれば環境に配慮した輸送ができるのか」、物流の知見が無く困っている私たちに、佐川急便さんはさまざまなご提案をしてくださいました。

物流のプロならではの視点

まずJR貨物様の貨物列車を用

いた、自転車やイベント用資材の輸送をご提案いただきました。また、打ち合わせの中で、「トラック輸送はバイオ燃料を活用してはどうだろう」という投げ掛けに対し、的確な反応と、そこから発展した提案をくださいました。さらに海外からの参加者に対して、グループ会社と連携し、空港での荷物預かり、ホテルまでのバス手配をご提案いただくなど、物流のプロとしての幅広い知見と、さまざまなネットワークを持たれているのを感じました。

今後も地域活性化とともに

2023年に協定を締結させていただき、今後は佐川急便さんと

ともに、さらに地域活性化に取り組んでいきたいと考えています。例えば、日々地域を走行する中で道路に不具合があればお知らせいただいたり、配達の際に高齢者の見守りを行っていただいたり。佐川さんの輸送網を活用したまちづくりもできればいいと思います。また、今後守山市には企業の研究開発拠点や大きな工業団地ができる予定です。企業の生産活動がどんどん活発になる中で、必ず物流の力が必要になる。荷物をまとめて運べるような仕組みづくりなど、いろいろ教えていただいて一緒にやっていきたいですね。ぜひよろしくお願いします。



- 1 森中市長(写真中央)はトライアスロンにリレーの部の選手として参加
- 2 貨物列車で高崎(群馬県)⇄京都間を往復輸送
- 3 京都貨物駅で佐川急便の車両へ積み替え

「東京マラソン」を物流の力でサポートしたい



佐川急便のイベント運営支援の中でも代表的なものが、世界6大マラソンの一つである東京マラソンのサポートです。ランナー 38,000 名分の手荷物預かり・返却業務をはじめ、マラソン大会の運営に欠かせない業務を担当しています。
※佐川急便は東京マラソン 2024 のサポーターパートナーです。

ソリューション

● ランナーの手荷物預かり・返却業務

大勢のボランティアと一緒に 300 名を超える従業員が手荷物預かり・返却業務を実施



● 手荷物輸送

スタートエリアの都庁からフィニッシュエリアの
大手町まで手荷物輸送



● 給水・給食品輸送

15 か所のポイントに
給水・給食品を輸送



● 自転車運搬

交通規制で通れない
歩道橋での自転車運搬



©TOKYO MARATHON FOUNDATION

佐川急便 担当者の声

当日は限られた時間で手荷物預かり・返却業務を行う必要があったため、カーゴでトラックからの積み下ろし業務を行いました。また、300 名を超えるスタッフの意思疎通を図るため、事前に簡易業務マニュアルを作成し、各種業務に対応しました。

右の二次元コードから、
当社のイベントサポート
業務の内容を
ご覧いただけます！



マラソン大会を成功に導きたい

課題



- マラソン大会の会場設営・撤去業務に苦慮している
- 会場への備品搬入を行う車両を管理できない
(待機車両によるCO₂排出、ドライバー拘束の問題)
- ランナーの手荷物預かり・輸送をどのように行えばいいかわからない

ソリューション



- グループ会社との連携により、会場設営・撤去業務に対応
- 会場設営に合わせた車両手配・備品搬入の工程を組み、待機車両の問題を解消
- 手荷物預かり・輸送に必要な車両、人員を用意

解決フロー 事業会社：佐川急便、SGムービング

搬入車両のコントロール



会場設営・撤去



ランナーの手荷物預かり・手荷物輸送



佐川急便 担当者の声

当社が持つスポーツイベントでの経験・ノウハウを生かし、ランナーの手荷物預かり・手荷物輸送を受託しました。また配送だけでなく、グループの力を組み合わせることで、会場設営・撤去もお任せいただくことができました。



お客さまの声

佐川急便さんが、作業工程に合わせて配車くださったおかげで、納品車がバラバラに会場へ入ってくることもなく、現場作業に集中できました。会場設営・撤去作業や手荷物預かり業務まで丸ごと一式お願いできるので助かりました。

イベント来場者の荷物・お土産を発送したい

課題



- クルーズ客船寄港時に乗客の手荷物やお土産を全国へ発送したい
- 運送会社に頼んでも断られる

ソリューション



- 港ターミナル内に手荷物発送ブースを設置し、乗客の手荷物やお土産品の発送業務を請け負う

解決フロー 事業会社：佐川急便

クルーズ船乗客の手荷物・お土産を全国発送



佐川急便 担当者の声

寄港時に、乗客のお土産購入意欲を高めるためにも、発送ブースの設置は重要と伺い、今回のブース設置につながることができました。この事例をきっかけに、同自治体内での他のイベントでも発送ブース設置の依頼をいただくことができました。

お客さまの声

中々受諾してくださる運送会社が見つからなかったのですが、佐川急便さんは快く対応くださいました。過去のクルーズ船イベントでの実績もご案内いただき、安心してお任せすることができました。乗客の方々からも大変良い反響をいただいております。

地元の名産品の販売会を開催したい

課題

- ECが増加し、対面販売機会が減少する中、県産品を発信する販売会を実施したい



佐川急便 担当者の声

出店者の募集から、食品販売のサポート、在庫の対応など多岐にわたりサポートさせていただきました。多くのお客さまに来ていただき、担当者様および出店者様から喜びの声をいただきました。

ソリューション

- 人の流れが多く、遠方からの観光客などにも広くPRできる東京駅での販売会を実施
- 出店者の問い合わせ窓口も請け負うことで、担当者の手間を軽減

解決フロー

担当事業会社：佐川急便、佐川アドバンス



販売会の様子



交通機関の混雑を解消したい

課題

- 観光客とその手荷物（スーツケースなど）が増加し、交通機関が混雑。荷物を預ける場所も足りていない



佐川急便 担当者の声

2023年に実証実験として京都駅で実施。担当者様からは「この規模の運営ができるのは佐川急便さんだけ」と高評価をいただいています。

ソリューション

- 観光客が増加する時期に、駅などに臨時手荷物預かり所を設置
- 宿泊施設などへの配送サービスも実施

解決フロー

担当事業会社：佐川急便、SGムービング



2023年の紅葉シーズンに京都駅に設置した手荷物預かり所（カーゴ70台分）

国勢調査を一貫して任せたい

課題



- 5年に一度行われる国勢調査。調査票・調査用品の準備、配布など、何をどうしたらよいか分からない

ソリューション



- 調査票・調査用品の在庫管理や流通加工、調査員宅や説明会会場までの配送を一括手配

解決フロー

事業会社：佐川急便、佐川グローバルロジスティクス、佐川印刷



佐川急便 担当者の声

当社が窓口となって調査票・調査用品の保管、仕分け、梱包などを一括して手配できることが獲得につながりました。さらに配送会社である当社がフロントに立つことで、追跡情報をいち早く報告できることも高く評価していただいています。



お客さまの声

自治体の担当者は5年の間に異動などで代わってしまうため、毎回手探り状態で対応していました。効率的に業務を進めるためのスケジュールリングや、同梱物にバーコード印字をしていただくなど物流目線でのアドバイスは大変参考になり、業務をより良く完遂することができました。

選挙の運営をスムーズに行いたい

課題



- 投票会場や開票所へ機材などの
配達・回収を効率的に行いたい

ソリューション



- 投票所・場所・規模に応じた車両・ルート
を設定し、輸送・回収を行う

解決フロー

事業会社：佐川急便



佐川急便 担当者の声

2022年4月に行われた統一地方選挙における、市内55カ所の投票所への物品輸送・回収業務をお任せいただきました。時間の限られた中での業務でしたが、立ち会っていただいた自治体の担当者様の手を煩わせることなく、コスト面、品質面でもご評価いただくことができました。



規格外の配送物を送りたい

課題



- ポスター、チラシ、添書きとサイズの異なる配送物。
ポスターは折り目をつけずに
キレイな状態で届けたい

ソリューション



- 配布物をそのままお預かりして、
すべて丸めてビニール梱包して配送

解決フロー

事業会社：佐川急便、佐川グローバルロジスティクス



佐川急便 担当者の声

物流の知見がなく困っているお客さまに対し、配布物一式をまとめる資材（封筒・ラベル）レス、不在時はポスト投函もしくは前置きによる再配達レスの脱炭素を提案し、採用していただきました。これまで2023年冬、2024年春、夏、秋の計4回を獲得済です。



お客さまの声

サイズの異なる配送物の配送について困っていました。ポスターは印刷会社から四つ折りの状態で届いていたので折り目をつけずに掲示したいと相談したところ、筒状に丸めるビニール梱包を提案していただきました。職員の負担軽減、資材費の削減にもつながり非常に助かりました。

自治体庁舎移転に伴い書類を電子化したい

課題

- 移転後の新庁舎では保管庫を縮小するため、行政文書の一部を電子化する必要がある

ソリューション

- 大型スキャニングセンターで迅速・効率的に電子化
- 梱包・搬送も一括対応し、セキュリティを担保
- 文書活用・削減のコンサルティングも実施



お客さまの声

保管庫が縮小されることから、保管文書の電子化が必要でした。おかげさまで新庁舎でのペーパーレス化・スペースの有効活用につながり、DXと職員の働き方改革の相乗効果によって、業務生産性の向上が期待できます。

解決フロー

事業会社：佐川急便、佐川グローバルロジスティクス、SGムービング、SGシステム



予診票処理を電子化したい

課題

- 紙の予診票は検索や整理に時間が掛かり、市民からの問い合わせに素早く対応できない

ソリューション

- 予診票をスキャニングセンターで電子化し、AI-OCR技術で券番号を正確に読み取り
- 検索しやすく整理された納品データを作成
- 自治体業務用の検索ツールを作成しご提供



佐川急便 担当者の声

書類の電子化から保管または溶解処理などの後処理までワンストップで対応する「ドキュメントソリューション」と、AIを活用した高精度なOCR技術「Biz-AI×OCR」を組み合わせ、業務改革に貢献できました。

解決フロー

事業会社：佐川急便、SGシステム



書類の入力業務を省力化したい

課題

- 人手が掛かっている毎年の給与支払報告書入力業務を、省力化したい



SGシステム担当者の声

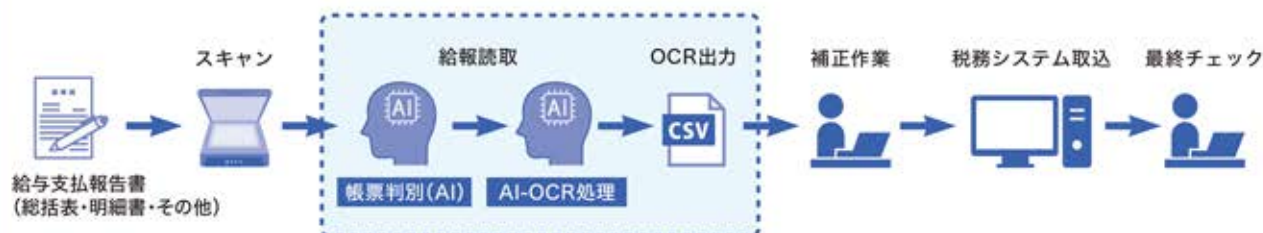
自治体で毎年実施される給与支払報告書の入力業務の省力化を実現しました。過去実績と高い読取精度、自動で項目を推定してデータ抽出が可能な項目推定技術などをご評価いただきました。導入後、前年度比で業務工数を大幅削減することができ、非常にご満足いただいています。

ソリューション

- 給与支払報告書向けのAI-OCR（AIを活用した光学文字認識）とオンプレミスによるセキュリティリスク低減
- 無償レンタルPCによる、導入前精度検証および導入サポートも実施し、スムーズな業務移行を実現

解決フロー

事業会社：佐川急便、SGシステム



DX × BPO SOLUTION LINE UP

DX × BPOで業務負担軽減と住民の皆さまの
利便性向上を両立

給付金申請案内・受付サービス

給付金の申請案内・受付に係る事務作業を代行するだけでなく、安全性の高いオンラインプラットフォームの導入もサポート。BPOによる業務負担軽減と、DXによる住民の皆さまの利便性向上を両立するソリューションです。



令和7年春から始まる新制度に特化し、
自治体業務の負担を軽減

戸籍フリガナ登録サービス

令和7年春から、戸籍への氏名振り仮名登録が始まります。住民様への書類でのご案内から届出書の受付、データベースへの連携、さらにはコールセンターによるお問い合わせへの対応まで、業務工程の全体をサポートします。



NEXT GIGAに 対応したサービスを提供したい



2019年に発表されたGIGAスクール構想のもと、学校現場での1人1台端末の利活用が進んでいます。その一方で故障端末の増加やバッテリーの耐用年数が迫るなどの課題も。GIGAスクール構想第2期（NEXT GIGA）に向け、当社ならではの機動力を活用し、キッティング※において発生する事項をトータルでサポートします。

※キッティングとは パソコンやスマートフォンなどのデバイスに各種設定やソフトウェアのインストールなどを行う作業全般のこと

NEXT GIGAには「SAGAWA キッティングサービス」をご利用ください

SAGAWAに任せる3つの理由

POINT 1 窓口は1つ、ワンストップでスピーディーに対応します

一般的な事例だと



→ 担当者様の手間を減らし、**短納期かつ低価格を実現!**

佐川急便なら



POINT 2 地域・台数・時期問わず対応可能

グループ（協会社含む）の物流・配達拠点を活用することで、全国各地への配送・設置案件にも対応可能

スピード



対応力



→ 「大量の機器の入れ替えをスピーディーに実施したい」などの場合はぜひご相談ください

POINT 3 アフターサービスも充実

IT機器の運用保守、問い合わせ対応、データ消去、端末回収もお任せください

運用支援	処分支援
IT資産管理	データ消去
コールセンター	消去作業報告書発行
修理対応	撤去・回収

→ データ消去は消去作業報告書が発行できて、**情報漏洩を防止**できるため安心です

美術品を安全・確実に移動させたい

課題



- 記念館の改修工事に伴い、美術品などの貴重な収蔵品を一時的に退避先へ移動させる必要がある

ソリューション



- 専門の資格を取得したスタッフにより収蔵品の梱包・荷役作業を実施
- 美術品専用車両を用いて安全に搬送

解決フロー

事業会社：佐川急便、SGムービング



※エアサスペンション：車体に取り付ける、衝撃を吸収するための装置



佐川急便 担当者の声

記念館の改修に伴う収蔵品の搬出から、工期後の返却輸送までを対応しました。同自治体ですでに博物館での作業実績があり、美術品輸送に対する品質をご評価いただいていたことが本案件にもつながりました。



お客さまの声

博物館での実績で、高い専門性と品質を持っていることが分かっていたので、移転計画の立案から携わっていただきました。遅延や事故も無く、計画通りに遂行することができ、お任せして良かったと感謝しています。

移設

成約

ホッキョクグマを輸送したい

課題



- ホッキョクグマを動物園間で輸送するに当たり、輸送のノウハウがなくて困っている

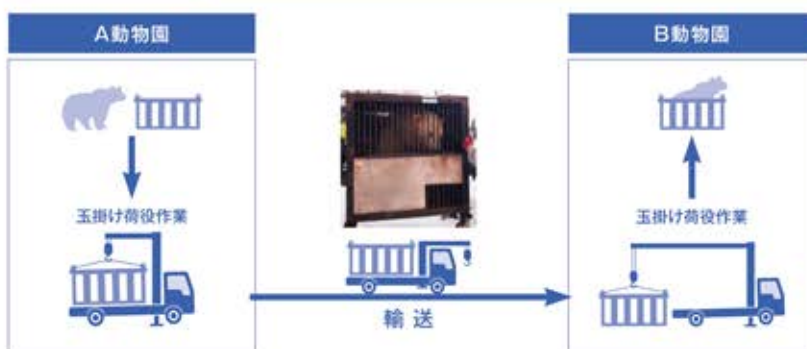
ソリューション



- 専用の檻に入ったホッキョクグマをユニック車にて集荷。安全な輸送体制を構築した

解決フロー

事業会社：佐川急便



イメージ



佐川急便 担当者の声

猛獣輸送に関する届出や輸送時の獣医同行などの手配は、仕様書の作り込みの段階から輸送先の動物園に対応していただきました。そのため当社は輸送とユニック車による荷役作業のみを担当。猛獣輸送の実績として高い評価をいただいております。



お客さまの声

該当のシロクマについて輸送手段の知見がなく困っていました。佐川急便さんが輸送できるとのことで業務委託をして、無事に輸送することができました。ホッキョクグマもストレスなく輸送することができて大変助かりました。

庁舎移転を成功させたい

課題



- 大規模な市庁舎の移転を、セキュリティを担保しながら、市民サービスへの支障が出ないように円滑に成功させたい

ソリューション



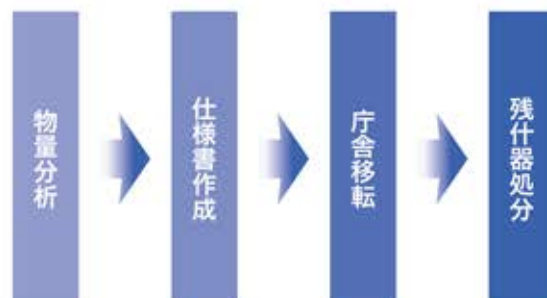
- 豊富な実績を基に綿密な移転計画を策定。プロジェクトマネジメントから実行まで一貫対応
- ハンディ端末を用いた個体管理システムで段ボール箱を追跡し、行政文書の安全・安心な搬送を実現

解決フロー 事業会社：佐川急便、SGムービング

庁舎移転で発生する業務を一括調整・管理



庁舎移転に伴う作業をトータルサポート



佐川急便 担当者の声

市役所の建て替えに伴う移転業務の、プロジェクトマネジメントから移転作業までを一貫して対応しました。このような大規模案件から小規模なものまで、豊富な実績がありますので、庁舎移転の際はぜひご相談ください。



お客さまの声

同規模の移転実績があると聞き、安心してお任せできました。さまざまなイレギュラーに対しても柔軟に対応いただき、市民サービスに支障が出ないような綿密な移転計画を立案いただき、大変助かりました。

地場産品、特産品をもっと海外に知ってもらい、

SAGAWAの 海外販路サポート

IT企業と連携することで
生産者様の海外販路拡大を
全面的にサポートします



課 題



● 地場産品を海外へ
販売したい

しかし

- 海外（バイヤー）とのつながりが無い
- 海外への発送方法や必要書類などについての知識が無い
- 代金回収がきちんとできるか不安



佐川急便 担当者の声

近年の海外におけるお茶のブームで、市の特産物と海外での需要はマッチしていました。しかし、自治体には「海外バイヤーのつながりが無い」など、海外進出のために何から手をつけたら良いか分からないという課題がありました。そこで当社が海外大手IT企業と協力し、自治体専用のサイト構築など、海外販路拡大のための仕組みをご提案。出品のための翻訳、商品代金の回収など、地場企業の海外進出を全面的にバックアップできる体制を整えました。



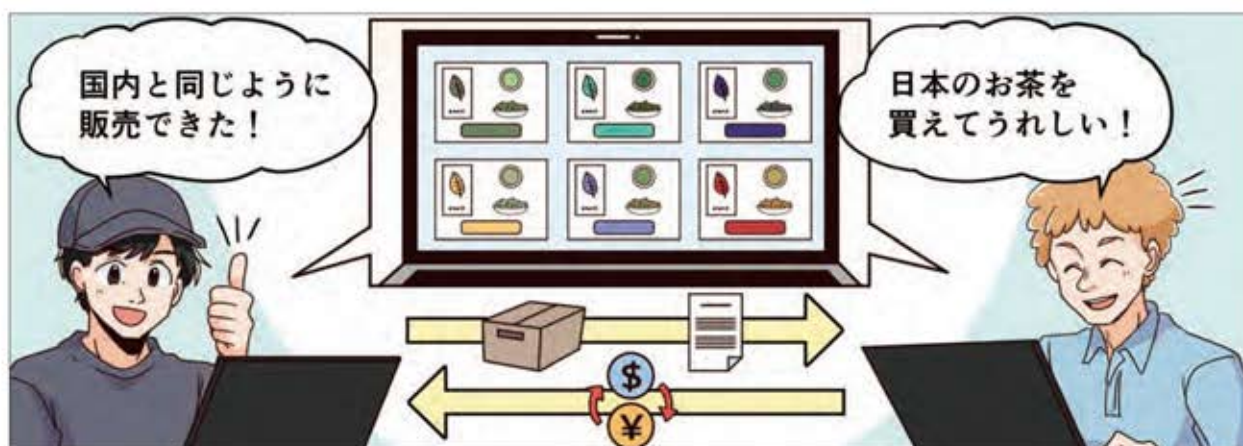
お客さまの声

特産品であるお茶の販路拡大は、私たちの長年の悩みでしたが、今回佐川急便さんからいただいた海外販路拡大のご提案に大きな可能性を感じています。地場生産者向けにさまざまな資料を用いての説明会なども実施していただき、生産者の皆さんからも「佐川急便さんがここまで対応してくれるとは」と驚きの声を多数いただいております。また、生産者の方々の顔も明るくなり、期待も膨らんで地域活性化にもつながっております。この取り組みが市の未来を大きく変えてくれることを願っています。

販路を拡大したい



ソリューション



- 海外大手IT企業とのタッグで
特産品であるお茶を海外へ販売できる仕組みを構築

解決フロー

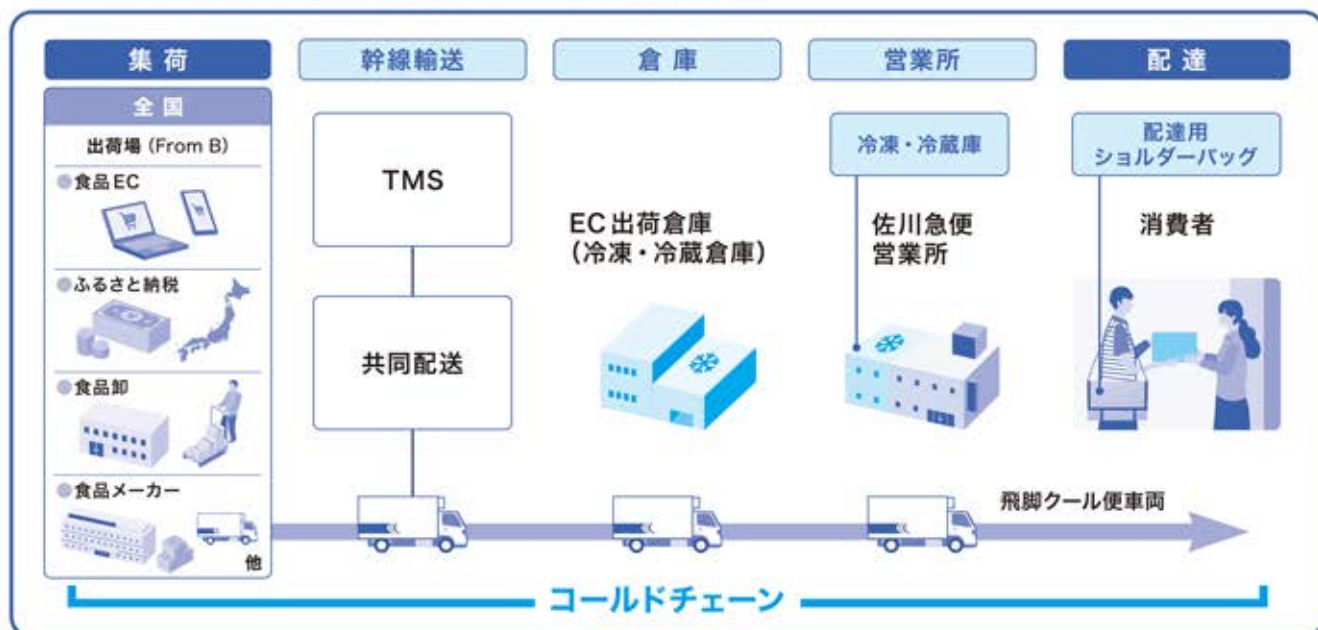
事業会社：佐川急便、SGHグローバル・ジャパン



冷凍、冷蔵食品を全国に届けたい

当社は、C&Fロジホールディングスや佐川グローバルロジスティクス、ニチレイロジグループ様との連携により、全国各地の冷凍・冷蔵倉庫を活用することが可能です。冷凍・冷蔵物流における生産地からの幹線輸送と消費地での保管・出荷対応を実現します。

SAGAWAのコールドチェーン



冷凍・冷蔵輸送が必要な地域の産品や冷凍・冷蔵の加工食材もお任せ



ふるさと納税の増加する出荷数に対応したい

課題



- 寄付金額の急激な伸びで、キャパシティオーバー
- 北海道からの発送では、輸送費がかさみ、ふるさと納税の制度改正(2023年10月～)に対応できない



ソリューション

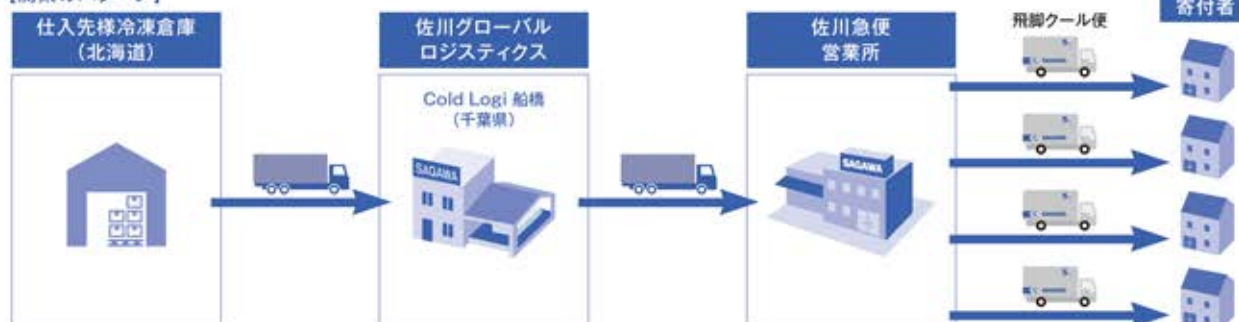


- 関東圏に物流拠点を開設し、寄付者が集中する関東・関西への輸送コストを抑制
- 大幅に増加する出荷数に対応する冷蔵施設をご提案

解決フロー

事業会社：佐川急便、佐川グローバルロジスティクス、SGシステム

【関東のパターン】



佐川グローバルロジスティクス 担当者の声

「Cold Logi 船橋」をはじめとする当社グループの対応力をお客さまにアピールできた案件です。イレギュラー出荷などにも柔軟に対応し、お客さまからもご評価いただくことができました。



Cold Logi 船橋

農産物を環境に優しく輸送したい

課題



- 愛媛県産のみかんを関東や北海道に発送したい
- それまで頼んでいた運送会社が諸事情により対応できなくなった

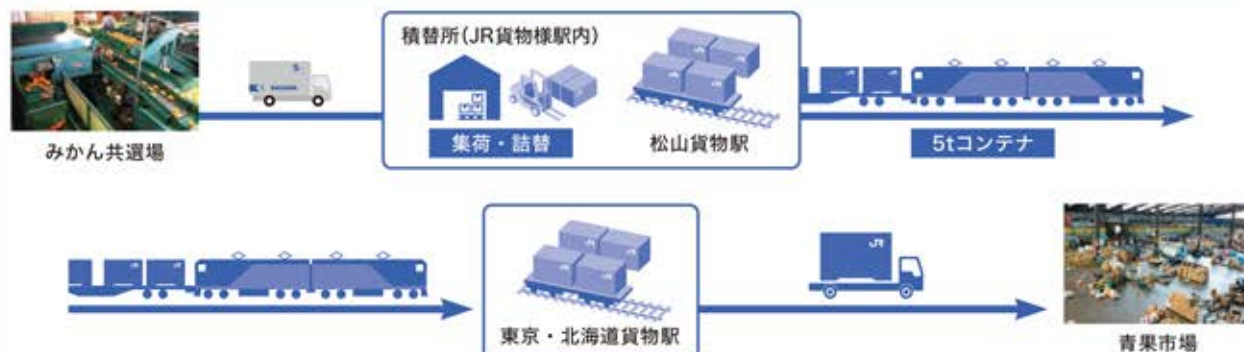
ソリューション



- JR貨物様のコンテナを活用した輸送をご提案。当社がみかんの共選場にて集荷を行い、貨物駅に持ち込むスキームを確立
- 鉄道輸送によりトラック輸送の場合と比べCO₂排出量が削減。環境に優しい輸送が可能に

解決フロー

事業会社：佐川急便



佐川急便 担当者の声

お客さまは共選場からJR貨物駅への車両手配ができずお困りでした。そこで当社が集荷をして貨物駅へ持ち込むことで、5tコンテナ約50本の輸送を可能にしました。



お客さまの声

無事に今年度も輸送できて安堵しています。2024年問題や環境問題の面からも、モーダルシフトでの輸送は必須と考えていますので、今後も引き続きお願いしたいです。また海上や航空といったトラック以外の輸送方法を提案していただければと思います。

第一次産業の課題を解決してほしい

当社は、生産者様が抱える「高齢化」や「人手不足」という課題に対し、さまざまな輸送方法を用いることでサポートを行っています。地域の生産者様と消費者をつなげる役割を担うことで、地域経済の活性化を図るとともに、地元の新鮮な食品などを全国に届け、地域の魅力を広めています。

第一次産業の活性化に向けて

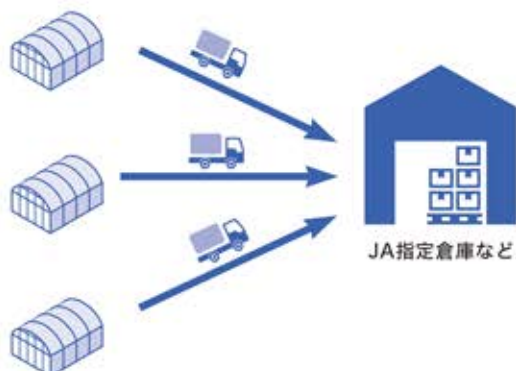
生産者様の課題（高齢化や人手不足）を佐川急便が解決



事例 農産物のミルクラン（巡回集荷）

Before

生産者様が自分で
JA 指定場所まで持ち込み



JA 指定倉庫など

After

当社が巡回集荷を実施し、
JA 指定場所まで輸送



JA 指定倉庫など



重いお米や野菜、果物なども佐川急便がJA 指定場所まで持ち込みます

事例 農産物の梱包・出荷作業

一部の営業所では、グループ会社の佐川グローバルロジスティクスと連携して、梱包・出荷作業も請け負っています。生産者様は梱包・出荷の手間が減り、生産に集中できるので、出荷量拡大につなげることができます。



農産物の長距離輸送も請け負います（以下は実際に運んだ事例）

キャベツの海上輸送

鹿児島→茨城まで

キャベツ



お茶の鉄道輸送

お茶

佐賀→静岡まで



トマトのパレット輸送

トマトのパレット

熊本→東京まで



ドローンによる 買い物支援・災害対応を実現したい



課題



- 過疎化が進む地域において、買い物が困難になってしまっていることが懸念されている
- 陸路での輸送が困難な山間部などへの災害発生時の支援物資輸送の手段が必要

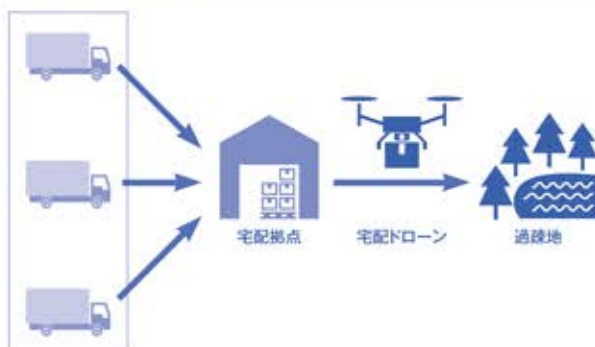
ソリューション



- 物流を集約する拠点と、その拠点を起点とした宅配ドローンによる配送を立案
- 官民連携で実証試験を実施

解決フロー

事業会社：佐川急便



佐川急便 担当者の声

宅配ドローンの実証実験は、東京都の支援事業として今年度で3年目を迎えました。青梅市の皆さんにご協力いただきながら、飛行試験を繰り返しています。地域の皆さんを対象としたドローン教室も実施させていただき、地域の課題解決・活性化につながる取り組みで

あることを、多くの方にご理解いただいています。また、能登半島地震でのドローン支援の経験を生かし、災害にも備える地域連携を構築しています。実装に向けて推進していきます。



当社の環境活動



再配達削減に向けて多様な受け取り方が選べます

再配達が増加すると、トラックの移動によるCO₂排出量も増加します。佐川急便では、環境負荷低減に向けて再配達回数を削減（＝CO₂排出量を削減）するための多様な受け取り方をご用意しています。



スマートクラブ

会員登録することで、お荷物のお届け日時をメールで事前にお知らせします。また、配達日や受取場所の変更も可能です。



LINEサービス

お荷物のお届け日時をLINEで事前にお知らせします。当社公式アカウントから、配達日の変更や、再配達の依頼が可能です。



置き配サービス

荷受人さまのご指定の場所へお荷物のお届けが可能なサービスです。受け取り場所は7つの選択肢をご用意しています。



物流環境大賞表彰にて4つの取り組みで受賞

物流部門において優れた環境保全活動や環境啓発活動などを行うことにより、環境負荷低減の面から物流業の発展に貢献された事業者などが表彰されます。今後も佐川急便は環境負荷低減を図るための物流効率化を着実に進め、持続可能な社会の実現に貢献します。



低炭素物流推進賞

九州大分県下のバン共同配送プロジェクト

フジパン株式会社・株式会社リョーユーバン・株式会社フランソア・株式会社タカキペカーリー・佐川急便株式会社との共同受賞

大分県内における複数のバンメーカー様とスーパーなどの小売店へ共同配送するスキームを構築。物流コストの削減だけでなく、トラックの積載率改善や運行台数の削減、それによる環境負荷の低減を実現。



日本物流記者会賞

輸送に使用したストレッチフィルムの再利用

産業廃棄物として各営業所が個別に処理をしていた使用済みストレッチフィルムなどの包装資材を分別・回収し、協力会社のリサイクル工場で再利用してエチレン製ゴミ袋などの原材料として活用（製造されたゴミ袋の購入も実施）。また、一部荷主様を対象にストレッチフィルムの代替品（グリーンベルト）導入を推奨、リユースの運用を構築することで、廃棄に伴うCO₂排出量を削減。



特別賞

本州最北端の青森県下北郡向け荷物の共同輸配送

西濃運輸株式会社との共同受賞

本州最北端の青森県下北郡向け荷物の共同輸配送のスキームを構築。人口減少地域向けの幹線輸送や配送を共同化することで、持続可能な輸送ネットワークの構築・維持を目指します。これにより、トラックの積載率改善や運行台数の削減、それによる労働・環境負荷の低減を実現。



特別賞

ユーザーも参画する「サステナブル配送プロジェクト」とプロジェクトの仕組みを横展開したトライアスロン大会用品の輸送

お客さま・荷主・運送事業者の3者が協力し、温暖化対策に取り組む「サステナブル配送プロジェクト」を実施。プロジェクトに賛同するお客さまから参加を募り、集まった支援額と同額を次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」導入費用として拠出し、当社のトラックに「サステオ」を供給するもの。トライアスロン大会用品でのトラック輸送の実績あり。

まちを支える。ひとに寄りそう。

SAGAWA

タウンサポート

— 2024年度版 —
取組事例集

佐川急便のタウンサポートに関する
お問い合わせはこちらから



名 刺

佐川急便株式会社

<https://www.sagawa-exp.co.jp/>



- この印刷物のFSC®ラベルは、世界の森林資源の責任ある利用を保証します。
- 環境対応型インキの植物油インキで印刷しています。



SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

初版 2024年12月